

推進する主な取組の実施状況について（令和３年度実績）

資料 1

※判定基準 a…十分な成果を得ている、b…概ね実施できている、c…今後検討が必要

| No | 担当室課 | 大綱施策 | 事業名 | 取組内容 | その他関連大綱施策 | 令和3年度実績 (取組内容の具体的な内容等) | ※ 判定 | 取組内容に関する今後の課題・検討内容 |
|----|-----------|-----------------|----------------------------------|---|-----------|---|---------|---|
| 1 | 中央図書館 | I - 1 (1) | 文字情報の取得に配慮が必要な人への読書サービス | 録音図書や点字図書、マルチメディアデ イジーなどの貸出や対面朗読のサービ スを実施。 | Ⅲ- 2 | 録音図書の貸出数1487点 点字図書の貸出数110点 対面朗読サービス実施回数332回 | a | 資料展示や催しを開催し、多様な読書方法への興 味や関心を抱くきっかけづくりに取り組む。 |
| 2 | 障がい福祉室 | I - 1 (1) | 手話通訳 | 障がいのある人が社会参加しやすい環境 づくりの一環で、手話通訳者の派遣や手 話講習会を実施。 | Ⅲ- 2 | 手話通訳派遣はコロナ禍により医療機関への 派遣が増え、派遣件数は対前年比 2 割増の 1,103件。手話講習会はコロナ禍のため中 止。 | c | 手話講習会は会場の人数制限のため、例年より受 講者数が抑えられることから、多くの受講希望者 の学習機会を何らかの形で確保していく必要があ る。 |
| 3 | 高齢福祉室 | I - 1 (1)(2) | いきがい教室 | 高齢者の生きがいを高め、仲間づくりを 目的として、初歩的な趣味の教室を開 催。 | Ⅲ-1、Ⅲ- 2 | 市内在住の60歳以上の方を対象に 1 6 種類の 趣味教室を開催し、仲間づくりの輪を広げ た。（延べ受講者数：2,274人） | b | コロナ禍の中でも募集に対して多数のお申し込み をいただいているため、今後も継続していく。 |
| 4 | 総合福祉会館 | I - 1 (1)(2)(3) | 障がい者に対する各 種教室 | 障がい者の自立と社会参加の促進や生き がいを高めることを目的として、陶芸、 七宝焼、料理、体操、音楽などの教室を 開催。 | Ⅲ-1、Ⅲ- 2 | 【障がい者向け教室の実施】 * 教室名、1 年間の開催件数及び参加人数 陶芸教室 64回 391人 七宝焼教室 17回 139人 ストレッチ体操教室 16回 113人 料理教室、社交ダンス教室、民謡教室は令和 3 年度、コロナのため実施なし。 | b | 総合福祉会館で行っている障がい者向け教室につ いて、新規参加者を増やす取組を行う必要があ る。 |
| 5 | まなびの支援課 | I - 1 (1)(2)(3) | 聴言障がい者教養講 座 視覚障がい者活動講 座 | 視覚障がいや聴覚言語障がいのある人を 対象にダンスや生け花、吹田の歴史など の教養講座を開催。 | Ⅲ-1、Ⅲ- 2 | 視覚障がい者活動講座 4回 21人 聴言障がい者教養講座 6回 90人 | c | 講座内容の企画や運営方法について関係団体と調 整し、より広く市民に周知する方法を検討する。 |
| 6 | 文化スポーツ推進室 | I - 1 (1)(4) | 多文化共生推進イベ ント等の支援 | 多文化理解を深め、多文化共生社会の表 現を目指し、（公財）吹田市国際交流協 会が行う「多文化まつり」等、様々なイ ベントを支援。外国に文化的ルーツを持 つ人等に各種講座やイベントを実施。 | Ⅲ- 2 | （公財）吹田市国際交流協会が実施した多文 化共生推進事業における情報提供や支援に対 して補助金の交付を行った。 | b | 令和5年度以降は、外国人支援等の実施に伴う事 業再編等により、市の多文化共生推進事業を拡充 する予定。 |
| 7 | 中央図書館 | I - 1 (2) | 図書館資料の収集・ 保存・活用 | 教養、文化、調査研究等に役立つ図書、 雑誌等をはじめ、地域の文化に関する情 報も含めて幅広く収集し、貸出サービ ス等を実施。レファレンス・読書相談など の学習支援を実施。 | I - 3 | 貸出総計 3,693,591点 レファレンス受付件数 10,455件 | a | 引き続き、市民のニーズに対応した多種多様な資 料を収集、提供し、文化・芸術に係る自由な学び を支援する。 |
| 8 | 文化スポーツ推進室 | I - 1 (4) | 国際都市交流 | 国外の友好交流都市のスリランカ・モラ トワ市やオーストラリア・カンタベリバ ンクスタウン市との交流。 | Ⅲ- 2 | 新型コロナウイルス感染症の影響により実施 見送り。 | c | 世界的なコロナ感染拡大の影響で海外都市との交 流事業が数年間停滞しているため、コロナ禍でも 実施可能なオンラインでの交流の取組みを検討。 例) 吹田市の生徒と海外都市の生徒による語学交 流等 |

| No | 担当室課 | 大綱施策 | 事業名 | 取組内容 | その他関連 大綱施策 | 令和3年度実績 (取組内容の具体的な内容等) | ※ 判定 | 取組内容に関する今後の課題・検討内容 |
|----|-----------------------|-----------------|--------------------|---|---------------------------------|---|---------|---|
| 9 | 文化スポーツ 推進室 | I - 2 (1) | 市民劇場 (鑑賞型事業) | 様々なジャンルの芸術を低廉な価格で鑑賞する機会の提供。 | II - 1 | 関西フィルハーモニー管弦楽団 七タコンサート、地主薫バレエ団によるバレエ、新春能等の公演を実施。入場者計2,476人 | b | 今後もオーケストラ、バレエ等、多様な公演を実施することにより、鑑賞の機会の創出を継続していく。 |
| 10 | シティプロ モーション推 進室 | I - 2 (1)(2) | すいたフェスタ | 市民参加による市民相互の連携強化、未来を担う青少年の育成、市内商工業の発展、市への愛着と誇りの醸成を目的とし、多世代が楽しめる魅力的な企画を実施。 | II - 2、III - 1、 III - 2 | 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止と判断。 | c | より多くの市民が楽しみ、参加したくなるような魅力的な企画を検討・実施するとともに、新型コロナウイルス感染症対策、熱中症対策等の充実など、安心・安全なイベントを目指し、継続して実施する。 |
| 11 | 文化スポーツ 推進室 | I - 2 (1)(3) | 吹田市公募美術展覧会 | 日本画、洋画、彫塑、工芸、書、写真、グラフィックデザインの各部門で、美術の鑑賞と創作発表の場として、吹田市公募美術展覧会を開催。 | — | 新型コロナウイルス感染症の影響により実施見送り。 | c | 若年層の出展を促すよう、広報の方法や賞のあり方等の開催方法について検討する。 |
| 12 | 文化スポーツ 推進室 | I - 2 (1)(3) | 市民文化祭 | 市民が様々なジャンルの文化・芸術活動の成果を発表する場として毎年開催。 | II - 3、III - 2 | <p>新型コロナウイルス感染症対策による人数制限等を設けつつ、下記の事業を実施した。</p> <p>【文化団体協議会部門】参加者1,793人 舞台部門では、演劇、バレエ、音楽、日舞など、10ジャンルの催しを実施。 展示部門では、盆栽、拓本、美術など、9ジャンルの展示を実施。</p> <p>大会形式では、俳句、将棋、囲碁など、5部門を実施。 市民体験として、苔玉作り、茶道・生け花講座など、3ジャンルを実施。</p> <p>【芸術芸能フェスティバル】参加者132人 公募により、舞台13組、展示12組の市民が参加。</p> <p>【文化で国際交流】 新型コロナウイルス感染症の影響ため実施見送り</p> | b | 感染症の状況が改善すれば、参加や観覧における制限の緩和や、子ども達を含む市民が体験や理解を深めることができる取組について検討する。 |
| 13 | 文化スポーツ 推進室 | I - 2 (2)(4)(5) | 吹田市文化会館（メイシアター）の活用 | 文化・芸術活動の拠点施設として、良質な文化・芸術の鑑賞や発表の機会と場を提供。文化・芸術に関わる企画制作や演出等の相談支援をはじめとした市民の文化・芸術活動に対する中間支援機能の充実を図る。 | I - 3、II - 2 III - 1、III - 2 | <p>施設の管理運営においては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心して利用できるよう努めた。</p> <p>また、指定管理者において、鑑賞型事業・創造型事業・市民参加型事業・育成型事業・連携型事業・普及啓発型事業等6つの事業構成の自主文化事業を実施し、地域の活性化・市民文化活動の拡充に努め個性豊かな地域文化の創造に貢献した。</p> <p>入場者数 175,017人</p> | b | 感染症状況が改善すれば、利用上の制限の緩和等、市民利用の回復に向けて検討を行う。また、今後も文化芸術の拠点施設として吹田市民文化祭や市民劇場等の市の文化事業の実施会場などに活用していく。 |

| No | 担当室課 | 大綱施策 | 事業名 | 取組内容 | その他関連 大綱施策 | 令和3年度実績 (取組内容の具体的な内容等) | ※ 判定 | 取組内容に関する今後の課題・検討内容 |
|----|-----------|--------------|---------------------------|---|---------------|--|---------|---|
| 14 | まなびの支援課 | I - 2 (3) | 生涯学習吹田市民大学 | 市民の生涯学習活動を支援することを目的として、大学連携講座のほか、社会情勢や現代的課題について学ぶ特別講座を開催。 | － | 大学連携講座 11回 643人 特別講座 2回 26人 | c | コロナ禍により会場での定員を減らして感染対策を講じたが、今後はオンライン講座についても検討する。 |
| 15 | 文化スポーツ推進室 | I - 2 (3) | 国内都市交流 | 異なる文化や環境に触れ、自らの地域の魅力を再発見するため、友好交流都市の6市町村との間の市民相互の交流機会を提供。 | Ⅲ-2 | 吹田市HPの国内の友好交流都市紹介ページをリニューアル。 新型コロナウイルス感染症の影響により人の往来をとまなう交流は実施見送り。 | b | 人的交流にだけでなく、オンラインの活用など、時代に即した新たな形での交流を検討する。 |
| 16 | 文化財保護課 | I - 2 (4) | 文化財の公開展示 | 地域の文化に関する歴史資料等の情報を展示することで市民の生涯学習活動を支援する。 | Ⅱ-3 | 博物館において、歴史と民俗に関する常設展示を行っている。また、特別展等の企画展示を5回開催した。 利用者数12,514人（講座受講者等を含む） | a | 常設展示の大規模リニューアルが課題。令和10年度に予定されている大規模改修に合わせてリニューアルを行う方向で検討。 |
| 17 | 文化スポーツ推進室 | I - 2 (4)(5) | 市民ギャラリーの運営 | 常設の市民ギャラリーにおいて、発表と鑑賞の機会を提供。 | － | 市庁舎ギャラリーでの展示 30件 南山田市民ギャラリーでの展示 18件 | b | 感染症の状況が改善すれば、自主事業等での地域・団体等との連携拡充や市民利用の回復を図る。 |
| 18 | 文化スポーツ推進室 | I - 2 (4)(5) | 吹田歴史文化まちづくりセンター（浜屋敷）の貸室業務 | 日本家屋の特長をいかした文化・芸術活動の場と自発的な学びの機会を提供。 | － | 新型コロナウイルス感染症の影響による市民利用の減少はあったものの、感染対策等徹底した管理運営に取組んだ。 | a | 感染症の状況が改善すれば、市民利用の回復の取組や、周年事業等による地域・団体等との連携拡充を図る。 |
| 19 | 各事業担当室課 | I - 3 (1) | 市報すいたによる情報発信 | 市の事業や行事の紹介など、市民への周知事項をまとめた広報紙により文化情報を提供。 | － | ・11月号で米沢富美子こども科学賞（吹田市子ども科学作品展）授賞式の案内を、12月には受賞者と受賞作品を掲載した。【学校教育室】 ・行事の紹介など、市民への周知事項を市報すいたに提供。【中央図書館】 ・博物館の特別展や関連イベント、旧西尾家住宅の観覧案内や寄附の募集、旧中西家住宅の観覧案内や特別公開の情報を発信。【文化財保護課】 ・文化行事（市民劇場、文化祭など）の周知を実施した。【文化スポーツ推進室】 | - | ・米沢富美子こども科学賞（子ども科学作品展）について、引き続き市報にて市民に周知し、関心を高めていく。【学校教育室】 ・図書館サービスの情報発信をし、図書館の認知度向上と利用促進を図る。【中央図書館】 ・引続き市報すいたで情報発信していく。【文化財保護課】 ・引き続き情報発信を行っていく。【文化スポーツ推進室】 |

| No | 担当室課 | 大綱施策 | 事業名 | 取組内容 | その他関連 大綱施策 | 令和3年度実績 (取組内容の具体的な内容等) | ※ 判定 | 取組内容に関する今後の課題・検討内容 |
|----|-----------------|--------------|------------------------------|---|---------------|--|---------|---|
| 20 | 文化財保護課 | I - 3 (1)(2) | バーチャルミュージアム | 博物館に直接行かなくても、いつでもどこでも展示内容がわかるバーチャルミュージアムによる展示を提供。 | I - 2 | 春季特別展・秋季特別展の展示内容を紹介するページを追加。特別展関連講演会等の録画コンテンツを11本追加。公開中の動画の総再生回数は31,776回。 | a | ホームページ上で閲覧できるデジタル・コンテンツを充実させていく。 |
| 21 | 各事業担当室 課 | I - 3 (1)(2) | ホームページやSNS等による情報発信 | 市の事業や行事の紹介など、市民への周知事項をまとめた吹田市ホームページやSNS等により文化情報を提供。 | － | ・行事の紹介や資料紹介などを、図書館ホームページやSNSで情報発信。【中央図書館】 ・博物館の特別展や関連イベントについて、博物館ホームページや吹田市公式フェイスブックにより情報発信。 旧西尾家住宅の観覧案内やプロモーションビデオを同住宅ホームページに掲載。 旧中西家住宅の観覧案内や春・秋の特別公開の情報を同住宅ホームページで発信。【文化財保護課】 | - | ・幅広い年齢層の目に触れる形の情報発信や、利用者の属性別の情報発信を行う。【中央図書館】 ・博物館ホームページについては、より見やすく、内容更新しやすいものを目指し、令和5年度に更新予定。旧西尾家住宅、旧中西家住宅のホームページについても、更に掲載内容の充実を目指す。【文化財保護課】 |
| 22 | まなびの支援 課 | I - 3 (1)(2) | 生涯学習情報の提供 | 講座やイベント、施設、人材、活動団体など文化・芸術活動に役立つ情報をはじめとした様々な生涯学習情報を発信。 | － | 学習施設ガイド「ひろがれ」の発行 ホームページ内の「バーチャル吹田生涯学習センター」として、講座の動画配信や生涯学習に関する情報を発信 | b | 新型コロナウイルス感染症の影響により、未確定な講座情報が多く紙媒体での情報発信が難しかったため、ホームページの活用をより充実させることを検討する。 |
| 23 | 文化スポーツ 推進室 | I - 1 (1) | 村居正之画伯の作品の展示 | 吹田市ゆかりの日本画家である村居画伯の作品を市庁舎や千里ニュータウンプラザ等の公共施設に展示。 | I - 2、I - 3 | 吹田市役所内の市長室・特別会議室、千里山・佐井寺図書館、千里ニュータウンプラザに作品を展示。 | b | 今後も作品の展示を継続的に行っていく。 |
| 24 | 文化スポーツ 推進室ほか | I - 3 (3) | 公共施設のロビーや公共空間を利用した作品展示やコンサート | 発表と鑑賞の機会の提供及びなげなく文化に触れる鑑賞機会の提供を目的として、公共施設の共有空間、屋外の公共空間を活用した作品展示やコンサートを実施。 | I - 2 | 新型コロナウイルス感染症対策による人数制限等を設けつつ、事業を実施した。 ロビーコンサートでは、吹田市役所本庁舎にてジュニアオーケストラ、和楽器の演奏を実施。市民公募のにぎわいライブとして、吹田市役所本庁舎にて、7組の市民がパフォーマンスを実施。 | b | 感染症の状況が改善すれば、歌唱等の制限を緩和するなど、出演の機会を増やすとともに、客席の配置を変更するなど、気軽に鑑賞できる携帯を検討する。 |
| 25 | 文化スポーツ 推進室 | I - 3 (4) | 出張コンサート等 | プロの演奏家の出張演奏会、中学校へのブラスクリニックや若手音楽家の小学校への出張コンサート等、参加しやすい身近な場所に出向いての取組を実施。 | II - 2 | 新型コロナウイルス感染症対策として、まん延防止重点措置解除期間中に4つの中学校合同で、合計149名参加のブラスクリニックをメイシアター大ホールで実施した。各校50分ずつ無観客による合奏練習会を行い、後日演奏動画を保護者向けに配信した。 出張コンサートは企画したものの、新型コロナウイルス感染症のため、学校の受入態勢が整わず中止となった。 | b | 今後も、通常の形での事業実施が困難な場合についても、内容を検討しながら事業を継続していく。 |

| No | 担当室課 | 大綱施策 | 事業名 | 取組内容 | その他関連 大綱施策 | 令和3年度実績 (取組内容の具体的な内容等) | ※ 判定 | 取組内容に関する今後の課題・検討内容 |
|----|-----------|--------------|-------------------|--|---------------|--|---------|--|
| 26 | まなびの支援課 | Ⅱ-1(1) | 生涯学習人材バンク | 学びたい人と教えたい人を結ぶかけはしとして、登録者名簿冊子「吹田市生涯学習人材バンク（ひとの宝箱）」を発行。 | I-3 | 「吹田市生涯学習人材バンク（ひとの宝箱）」を発行。 | b | 情報の更新を行っているが、より多くの市民に周知する方法を検討する。 |
| 27 | 文化スポーツ推進室 | Ⅱ-1(1)(2)(4) | 市民劇場 (育成型事業) | 市内の大学との連携等により、市民が本格的な舞台公演に参加する機会を創出。 | I-2 | <p>【ファミリーミュージカルの実施】</p> <p>千里金蘭大学との共同事業でオーディションで選ばれた小学3年生から大人までの一般市民と千里金蘭大学の学生、プロの演劇人の総勢40名が出演。（感染症の影響で3公演中2公演が中止）市民の出演者26人、金蘭大出演者10人、入場者214人</p> <p>【吹田市民の第九】</p> <p>関西フィルハーモニー管弦楽団と公募した市民が共演。市民合唱団103入。入場者数588人。</p> <p>【演劇ワークショップ】</p> <p>メイシアター中ホールで上演した演劇に対し、大阪大学演劇研究室の教授、院生及び公募の参加者6名による劇評を行った。</p> <p>また、演出家が吹田市内の小学校に出向き、演劇を体験してもらうワークショップを行った。参加者 小学6年生4クラス148人</p> | b | ファミリーミュージカルは世代を超えた市民が参加できる育成事業として、今後も実施していく。「吹田市民の第九」は参加者にシニア層が多いことから、若年層の参加を促す方策についても、今後検討する。 |
| 28 | 文化スポーツ推進室 | Ⅱ-1(2) | 吹田市文化功労者表彰 | 文化・芸術活動の普及や市民の文化振興への意識の高揚を目的として、文化振興に功績のあった個人及び団体を表彰する。 | I-2 | 吹田市文化功労者として、個人39名、団体2団体を表彰し、式典を実施した。 | b | 特定のジャンルの推薦が多い傾向にあることから、国際交流など、幅広い分野からの推薦を得るための周知等を検討する。 |
| 29 | 文化スポーツ推進室 | Ⅱ-1(3) | ティーンズクラシックフェスティバル | 若い才能の発掘による未来の人材の育成や、音楽を楽しむ場を共有することを目的としてクラシック音楽のコンクール等を行う。 | I-2 Ⅱ-2 | <p>5年ぶりに大ホールで観客を迎えての本選を実施。応募者44組中16組が本選に出場。観覧者数193人。</p> <p>受賞者によるコンサートを実施し、発表の機会を提供。なお、コンサートが中止となった前年度の受賞者にも出演いただいた。出演7組、観覧者数157人</p> | a | 本選出場者に広く活躍の場を提供できるよう検討するとともに、さらに多くの人が参加・見学できるように、周知方法等を検討していく。 |

| No | 担当室課 | 大綱施策 | 事業名 | 取組内容 | その他関連 大綱施策 | 令和3年度実績 (取組内容の具体的な内容等) | ※ 判定 | 取組内容に関する今後の課題・検討内容 |
|----|---------------|-----------|--------------------------|--|---------------|--|---------|---|
| 30 | 文化スポーツ 推進室 | Ⅱ-1(5) | アートマネージメントなどの人材育成 | (公財)全国公立文化施設協会など関係機関との連携によるアートマネージメントなどの人材育成ができる環境づくりを推進。 | ー | アートマネージメント講座に文化会館指定管理者の職員1名が参加。「実演芸術における公演映像活用の可能性」等、文化施設職員の専門的な研修を受けた。 | b | 今後もアートマネージメント研修会などに積極的に参加し、人材育成の環境づくりを推進していく。 |
| 31 | 学校教育室 | Ⅱ-2(1) | 文化・芸術行事に関する教育活動への支援 | 連合音楽会や教育美術展など、創作・成果発表、鑑賞のプロセスで、情緒や個性、道徳的な心を育てることを目的とした取組を支援。 | Ⅲ-2 | 9/17～19に千里山コミュニティセンターにて吹田市子ども科学作品展(市内全小学校36校、中学校2校参加。作品数211点)を、11/8～9にメイシアターにて吹田市小学校連合音楽会(市内全小学校36校参加)を、1/20～23に夢つながり未来館にて小学校吹田市美術展(市内全小学校36校参加。作品数216点)を、2/9にメイシアターにて児童文化部発表会(小学校5校参加)を、それぞれ開催した。 | b | ・子ども科学作品展については、中学校の作品が少ないため、今後とも中学校へ参加を呼びかける。 ・連合音楽会はコロナ感染防止対策を行い、コロナ禍以前の規模に戻していく。 ・教育美術展については、メイシアターがコロナワクチン接種会場になる可能性があったため、施設規模の小さな場所で行ったが、来年度からはメイシアターで実施する。 ・児童文化発表会は、各校へ呼びかけ、可能な限り規模を拡大していく。 |
| 32 | 学校教育室 | Ⅱ-2(1) | 中学校音楽祭など文化行事への支援 | 吹奏楽やギター・マンドリン等のクラブ活動の発表の場である音楽祭への支援を実施。 | ー | 令和3年度は、令和4年3月21日にメイシアター大ホールにて開催した。 | a | ・今後は実施規模をコロナ禍以前に戻していき、より多くの参加者を得られるように努めていく。 |
| 33 | 保育幼稚園室 | Ⅱ-2(2)(3) | 保育所、幼稚園等での文化行事 | 人との関わりや遊びを通して自発性や自主性を育むことを目的として、人形劇などの文化行事を実施。 | Ⅲ-2 | 子供たちの教育・保育の一貫として、人形劇や音楽会、演芸等を開催した。 | b | 心身ともに健やかな子供達を育むために、今後も継続して行っていきたい。 |
| 34 | 子育て政策室 | Ⅱ-2(3) | 幼児の文化・芸術活動を通じた心の成長に関する取組 | 幼児の頃から感情を育て、心の成長を促す取組として、多くの幼稚園や児童センター等で、人形劇やリトミックなどの文化・芸術活動に触れる機会を提供。 | Ⅲ-2 | 令和3年度は新型コロナウイルス蔓延防止対策による開催中止や開催規模を縮小しての実施となった。 | b | 国や府に沿った新型コロナウイルス感染対策を実施しながら、定期的に文化・芸術活動に触れる機会を提供していく。 |
| 35 | 青少年室 | Ⅱ-2(3) | 子供文化鑑賞事業 | 子供たちの豊かな情操を育むことを目的として、演劇等の鑑賞機会を提供。 | Ⅲ-2 | 【子供劇場の実施】 「市民平和のつどい」の一環として、小学生以下とその保護者を対象にメイシアターで開催する演劇等の公演 公演1回 入場者数215名 | b | 新型コロナウイルス感染症防止対策として、公演回数を1回、定員を半数の250人に減らして開催したが、応募者が定員を上回ったため、今後はコロナの状況を踏まえ、公演回数を増やすことを検討する。 |

| No | 担当室課 | 大綱施策 | 事業名 | 取組内容 | その他関連 大綱施策 | 令和3年度実績 (取組内容の具体的な内容等) | ※ 判定 | 取組内容に関する今後の課題・検討内容 |
|----|-----------|--------------|------------------------|--|---------------|---|---------|--|
| 36 | 子育て政策室 | Ⅱ-2(3) | 児童会館・児童センターの文化行事 | 子供に健全な遊びを提供し、健康増進を図るとともに、豊かな情操を育むことを目的として、児童会館・児童センターで文化行事を実施。 | Ⅲ-2 | 令和3年度は新型コロナウイルス蔓延防止対策による開催中止や開催規模を縮小しての実施となった。 (年間、月間行事等 全11館 5,811回) (幼児教室 全11館 948回) | b | 国や府に沿った新型コロナウイルス感染対策を実施しながら、定期的に文化行事を実施していく。 |
| 37 | 青少年室 | Ⅱ-2(4) | ヤングフェスティバル事業 | 青少年の自発性、社会性を養うことを目的として、ロック、ポップス、ヒップホップダンス等の発表をする機会を提供。 | Ⅱ-1 | 【ヤングフェスティバルの実施】 メিশアターで開催するバンド・ダンスのイベント 10団体136名が出演 観客212名 | b | 出演団体の減少が続いているため、出演団体の募集方法を検討。 |
| 38 | 青少年室 | Ⅱ-2(4) | 吹田青少年野外コンサート事業 | 交流を通じた青少年の育成を目的として、青少年が吹奏楽やコーラス等の音楽活動を野外で発表する機会を提供。 | Ⅱ-1 | 【吹田青少年野外コンサートの実施】 千里南公園野外ステージで開催する吹奏楽のイベント 13団体322名が出演 観客600名 | b | 昨今の気候変動等で地球温暖化が進む中、屋外での開催は熱中症のリスクが高いことや、雨天時の中止、高温による楽器へのダメージ等を考え、屋内での開催について検討。 |
| 39 | 文化スポーツ推進室 | Ⅱ-3(1)(2) | 吹田歴史文化まちづくりセンターの伝統文化行事 | 伝統的な日本家屋において、古くから伝わる季節の行事などを体験する機会を提供。 | Ⅰ-2 | 新型コロナウイルス感染症のため、中止した事業もあったが、感染対策を徹底しつつ、伝統文化に触れ親しみ、伝統的な風習や行事を体験する事業を8事業17回実施した。 | b | 今後も伝統的な風習や行事などを体験する機会を提供していく。 |
| 40 | 文化スポーツ推進室 | Ⅱ-3(1)(2)(3) | 子供や親子の伝統文化体験 | 茶道、華道、和装、礼法などの伝統文化を子供や親子が体験する機会を提供。 | Ⅰ-2 | 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策として、事前申込とするなど、一部事業の形態を変更して実施した。 【フェスティバル型】参加者60組 茶道、着付け、将棋など、7ジャンルで実施 【講座型】参加者86組 和菓子作り講座、おはやし講座など、5ジャンルで実施。 | b | 多くの子ども達が様々な伝統文化に親しんでもらえるよう、開催内容や周知方法、申込方法などを検討する。 |

| No | 担当室課 | 大綱施策 | 事業名 | 取組内容 | その他関連 大綱施策 | 令和3年度実績 (取組内容の具体的な内容等) | ※ 判定 | 取組内容に関する今後の課題・検討内容 |
|----|---------|--------|---------------------|--|---------------|---|---------|---|
| 41 | 文化財保護課 | Ⅱ-3(4) | 旧西尾家住宅、旧中西家住宅の保存と活用 | 重要文化財の旧西尾家住宅や吹田市指定有形文化財の旧中西家住宅の歴史的な価値の高い建築物を保存し、市民への見学の機会を提供するなど活用を図る。 | Ⅲ-3 | 旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）の一般公開を実施。観覧者96人 旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）の一般公開を実施。なお、庭園のみの公開や春と秋の特別公開（各10日間）も実施。観覧者499人 両住宅とも新型コロナウイルスの影響で約2か月の臨時休館があり、さらに観覧者の密を避けるため受入定員も制限して観覧を継続。 | b | 旧西尾家住宅については、令和2年度から国庫補助事業として約10年をかけ大規模修繕工事を進めており、工事中及び工事終了後の活用等について検討が必要。工事期間中も観覧者の安全を確保できる限り、観覧を継続する。また、文化財建造物の保存修理工事という貴重な機会を活かして、現場見学会も予定。 旧中西家住宅については、令和4・5年度の2年をかけて策定する保存活用計画の中で、建物の耐震化、修繕内容及び活用方針について計画していく予定。 |
| 42 | 文化財保護課 | Ⅱ-3(4) | 文化財の収集と保存、調査研究 | 有形文化財等、市内に所在する文化財の現況や実態を調査し、学術的な評価や価値を把握するとともに、文化財の活用を検討し、次世代に継承する。 | － | ・博物館の新規収集資料 5件14点 ・開発等に伴い、文化財がその歴史性や学術的評価が行われないまま滅失することを避けるため、緊急調査を実施 1件 ・遺跡、検出遺構や遺物などを良好な状態で保存するため管理を行うとともに、一般に公開（常時見学可）5か所 ・市指定・登録を受けた文化財の所有者又は保持若しくは保存を目的とする団体に対し、補助金を交付 4団体 ・文化財の啓発のための刊行物発行2件、説明板新設1件、修繕1件 | b | 開発等に伴う文化財の緊急調査の充実を図り、学術的に貴重な文化財の保存を行い、市指定・登録文化財の活用を検討する。 |
| 43 | 文化財保護課 | Ⅲ-1(1) | 博物館事業への市民参画 | 市民が集い、多様な体験をいかしながら博物館活動へ主体的に参加できることを目的とし、ボランティアをはじめとする博物館サポーターにより、学校教育や地域住民等との連携を深め市民生活を豊かで潤いのあるものにする。 | － | 特別企画「むかしのくらしと学校」展、イベント、資料調査、資料整理においてボランティアによる市民参画があった。参加者総数はのべ318人。公募市民による夏季展示実行委員会は令和4年度夏季展示に向けて活動を行った。活動日数は7日、実行委員数は12人。 | b | ボランティア、市民実行委員とも高齢化が進むとともに参加者が減少傾向にあり、参加人数の確保していく必要がある。 |
| 44 | まなびの支援課 | Ⅲ-1(1) | 生涯学習事業 | 現代課題に応じた講座を実施し、地域における課題の解決に関する気づきの機会を市民に提供。 | Ⅲ-3 | 子育て教室 5回 65人 | c | 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン講座も実施したが配信方法等についてより良い方法を検討する。 |

| No | 担当室課 | 大綱施策 | 事業名 | 取組内容 | その他関連 大綱施策 | 令和3年度実績 (取組内容の具体的な内容等) | ※ 判定 | 取組内容に関する今後の課題・検討内容 |
|----|-----------|---------------------|-----------------------------|--|---------------|--|---------|--|
| 45 | まなびの支援課 | Ⅲ-1 (1)(2)(3)(4) | 公民館運営事業 | 仲間づくりや交流につながるような、共に楽しめる講座や文化教室などの実施や、地域住民の自発的な学びの機会と身近な学習の場を提供。また、日頃の公民館活動の成果を発表する文化祭を開催。 | I-2 | 公民館講座 1,045件 14,456人 地区公民館文化祭 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 | c | 文化祭については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、実施可能な方法について検討する。 |
| 46 | 市民自治推進室 | Ⅲ-1 (1)(2)(3)(4) | コミュニティ施設の取組 | 施設を利用した文化・芸術活動等を通じて、地域に仲間ができ、コミュニティの活性化に寄与。また、ロビー等共有スペースを活用したコンサートや作品展示など、楽しめる催しを実施し、市民相互の交流機会を提供。 | I-2 | 市民センター等のコミュニティ施設は、市民の集会等の用に供し、市民相互の交流並びに市民の文化及び福祉の向上を図る場として、年間35万人を超える利用があった。 また、自主事業により年間約1,400件の講座や作品展示等が行われ、市民の交流の機会を提供した。 | b | コロナ禍において施設利用や自主事業の実施が制限されたため、コロナ禍でも実施可能な自主事業の実施を支援する。 また、施設設備について良好な施設機能を将来にわたって確保するため、老朽化対策などの課題があるため計画的に保全していく。 |
| 47 | 地域経済振興室 | Ⅲ-1(3) | 吹田産業フェア | 地元産業を紹介し、市民生活との関りについて認識を深め、市内産業の振興につなげる吹田市産業フェアにおいて、文化的要素を取り入れたイベントを実施。 | I-3 | 新型コロナウイルス感染症のためオンラインでの開催となり、画像や映像の効果を生かして市内産業を紹介したことから広い意味で文化的要素を取り入れた。 | b | 感染対策をしながらも市内産業に関わりをもてる産業フェアを開催し、吹田産業フェアの主旨に則して可能な範囲で文化的要素を取り入れたイベントを実施する。 |
| 48 | 文化スポーツ推進室 | Ⅲ-1(3) | 吹田歴史文化まちづくりセンター（浜屋敷）の地域イベント | 地域の歴史と文化を学ぶ講座やイベントなどの機会を提供。 | Ⅲ-3 | 歴史文化まちづくりセンター指定管理者が実施する、歴史と文化のまちづくりに係る講座、学習会や音楽鑑賞事業28事業41回に対して補助金を交付した。 | b | 今後も地域に息づく歴史及び文化を保存し、発展させるための事業として地域の歴史と文化を学ぶ講座やイベントなどの機会の提供ついて、支援する。 |
| 49 | 危機管理室 | Ⅲ-1(5) | 安心安全都市づくり市民会議 | 市民、事業者と一体となって安心安全のまちづくりを推進する活動を喚起する安心安全都市づくり市民会議の中でのコンサートなどイベントの実施。 | — | 令和3年度はコロナのため、安心安全都市づくり市民会議は延期 | c | コロナ禍でも実施可能なオンライン形式での開催も検討。 |
| 50 | 総務予防室 | Ⅲ-1(5) | 消防音楽隊 | 演奏活動を通じて、市民に対して火災予防等を啓発。 | — | 令和3年12月14日にメイシアター大ホールで吹田市高齢クラブ連合会主催の吹田市高齢クラブ連合大会で約30分の演奏を実施しました。 | b | 予定していた演奏会の多くはコロナの影響で中止となりましたが、新たなガイドラインを策定したので、十分な感染対策を行いながら、演奏の機会を提供していきます。 |
| 51 | 文化スポーツ推進室 | Ⅲ-2(1) | 多文化共生の推進 | 外国に文化的ルーツを持つ人等が地域で生活していく上での支援や、相互理解のための交流機会づくりを支援。 | I-1 | 吹田市で生活する外国人に対し、生活に必要な情報を多言語化しまとめた冊子「吹田くらしのガイドブック」を発行した。 外交人支援のため、日本語教室事業（参加者1,375人）、行政窓口通訳派遣事業（52回）を実施した。 | c | 増加する外国人住民の支援施策が不足しているため、令和4年10月に吹田市多文化共生ワンストップ相談センター（多言語相談窓口）を開設。 また、令和5年度以降は、外国人支援等を実施し、市の多文化共生推進事業を拡充する予定。 |

| No | 担当室課 | 大綱施策 | 事業名 | 取組内容 | その他関連 大綱施策 | 令和3年度実績 (取組内容の具体的な内容等) | ※ 判定 | 取組内容に関する今後の課題・検討内容 |
|----|-------------------|-----------|-----------------|---|---------------|--|---------|--|
| 52 | 障がい福祉室 | Ⅲ-2(1)(3) | 障がい者週間の催し | 市民の障がいへの理解を深めることを目的として、障がい者作業所の作品展示、活動の場の紹介やシンポジウムを実施。 | I-1 | コロナウイルス感染症の影響により、作品展示等は従前どおり行い、メイシアターでの活動の場の紹介に代えて、有識者を講師とした、合理的配慮をテーマとした講演と、当事者の参加したシンポジウムを啓発番組として、HPにおいて動画配信を行った。 | b | これまで行ってきた活動の場の紹介についても継続しつつ、啓発番組については好評であったため、今後の方向性における新たな取組内容として、継続した取組とするかを検討していく必要性がある。 |
| 53 | 文化スポーツ推進室 | Ⅲ-2(2) | 市民劇場 (育成型事業) | 障がい者などが、舞台公演に出演する機会を提供 | － | 市民公募による文化事業参加者（コンサート）において、障がい者の出演者あり。 | b | 障がい者の方だけによる事業というだけではなく、公募等により障がい者のある方にも参加しやすい環境、機会の提供を検討していく。 |
| 54 | 教育未来創生室 →学校教育室 | Ⅲ-2(4) | 子どもたちの人権芸術展 | 人権意識を育む機会として、演劇、合唱、合奏などを通じ人権や平和の大切さを発信する子どもたちの人権芸術展を開催。 | Ⅱ-2 | 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 | b | 幼、小、中、そして一般と様々な団体が参加し、それぞれの成長段階に応じた内容の発表会となり、子どもたちが人権問題を考えるうえで大変貴重な機会となっており、今後も継続を検討している。 |
| 55 | 教育未来創生室 →学校教育室 | Ⅲ-2(4) | じんけん作品展 | じんけん作品の募集を通して、子供たち一人ひとりが「人権」について主体的に考える機会を設け、作品展や作品集の作成・配布を通して、広く市民に向けて人権啓発を実施。 | Ⅱ-2 | 令和3年度は12/3～12/9までメイシアター展示室にて実施。小中学校合わせて32校より2,104点の作品の応募があった。作品展には大人から子どもまで、計672名が来場した。 | b | 人権週間に合わせての開催となり、広く学校や市民へ周知できる反面、募集のある学校が偏っているため、広く周知していくことが必要であると考えている。 |
| 56 | 人権政策室ほか | Ⅲ-2(4) | 市民平和のつどい | 平和意識の高揚を図るため、非核平和資料展、コンサート、映画会など文化・芸術を通じた啓発の取組を実施。 | － | 【市民平和のつどい】 「落語と講談のタベ～古典芸能が伝える平和へのメッセージ～」 入場者158人 【非核平和資料展】 令和3年度は新型コロナウイルスワクチン接種で会場使用できず実施なし | c | より多くの市民に参加していただけるよう、内容を検討する必要がある。 |
| 57 | 環境政策室 | Ⅲ-2(4) | 環境啓発事業 | 環境に配慮したライフスタイルの確立や、より良い環境づくりに向けて環境教育、学習の場としてイベントを実施。持続可能な社会の実現を目指す価値観の醸成を図る。 | Ⅲ-3 | 新型コロナウイルスの影響により、実地開催はせず、すいた環境教育フェスタ2022をオンラインで開催。環境保全活動等を実施する市民団体や企業、大学など14団体が出展。閲覧数は1,473件。 | b | 新型コロナウイルスの状況を鑑みながら、実地開催やオンライン開催など、開催方法を検討する必要がある。また、新しい生活様式にあった開催方法についても検討する必要がある。 |
| 58 | 文化スポーツ推進室 | Ⅲ-3(1) | 市民劇場 (育成型事業) | 吹田市ゆかりのアーティストによる演奏の場の提供。 | － | 【吹田のアーティスト応援事業の実施】 文楽、マリオネットコンサート等、年間で6公演の実施。入場者681人 また、令和4年2月にはコロナ禍でのアーティスト支援のため補正予算で能楽・声楽・バレエ等を融合させたガラコンサートを実施。 入場者594人 | a | 今後も吹田市ゆかりのアーティストの出演を促進していく。 |
| 59 | 地域経済振興室 | Ⅲ-3(2) | 農業振興事業 | 市民農園の開設支援や、水稻やさつまいも等の作付から収穫までを体験する事業を実施。児童の田植え、稲刈り体験による農業への理解と食育の啓発活動を推進。 | － | 令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、農作業体験事業及び学童農園については中止した。 | c | 今後についても、農作業体験を通じて農業への理解と地産地消についての啓発活動を推進する。 |

| No | 担当室課 | 大綱施策 | 事業名 | 取組内容 | その他関連 大綱施策 | 令和3年度実績 (取組内容の具体的な内容等) | ※ 判定 | 取組内容に関する今後の課題・検討内容 |
|----------|-----------------------|-----------|---------------------|---|---------------|---|---------|---|
| 60 | 文化スポーツ 推進室 | Ⅲ-3(2) | ホームタウン推進事業 | 吹田市に本拠地を置くガンバ大阪を市が率先して応援。また、ガンバ大阪を応援する団体との連携を深め、スポーツ文化の振興や地域の活性化を図る。 | － | キッズフォローアップ事業（参加者のべ1,936人）、スタジアムピッチ体験事業（参加者のべ809人）、スタジアムフェスタ（パブリックビューイング及びダンス発表会）（参加者約500人）、ガンバ大阪バスラッピング、ガンバ大阪選手着用ユニフォームパンツ前面「SUITA CITY」掲出等を実施した。 | b | 今後も引き続き、本市の魅力であるガンバ大阪を市民に身近に感じてもらい、「ガンバ大阪のあるまち」としてのホームタウン意識やふるさと意識の醸成を図れるような事業を実施。 |
| 61 | 地域経済振興 室 | Ⅲ-3(2) | 市内商工業団体等への支援 | 市内商工業団体等による地域との交流や活性化のためのイベント等に対し、補助金交付による支援を実施。 | － | 【商工業団体事業活動推進補助金交付】 催物事業 6件 | b | 令和3年度はコロナの影響により中止された事業も多かったが、今後、影響が和らげば、交付事業は増加する見込み。 |
| 新規 62 | 文化スポーツ 推進室 | Ⅲ-3(2) | イルミネーション事業 | 公共施設等を利用したイルミネーションを実施。 | I-1 I-2 | 吹田市文化会館（メイシアター）の大階段植え込みや外壁を利用してイルミネーションを実施。イルミネーション点灯式では、アーティストによるライブや小学生を対象にしたクイズ大会を開催。コロナ禍にも関わらず大勢の観客が参加した。 イルミネーション点灯期間：令和3年12月19日から令和4年4月30日まで | a | 吹田市文化会館（メイシアター）のイルミネーション点灯式については、次年度も実施する予定。他のイベントと一緒に開催する等による集客の相乗効果を目指す。 |
| 63 | 都市計画室 | Ⅲ-3(3) | 景観まちづくりの推進 | 次代に誇れる快適な都市景観を創造することを目的として、地域らしさと潤いのある景観のまちづくりに関する取組を推進。 | － | ・第4回吹田市景観まちづくり賞の実施 ・吹田市景観まちづくり計画の改定 ・吹田市屋外広告物ガイドライン作成 | a | 令和4年度は、景観まちづくりに対する意識の高揚等を図るため、吹田市景観まちづくり賞について、過去の受賞作品を含め広く市民に紹介する作品集を作成する予定。 |
| 新規 64 | シティプロ モーション推 進室 | Ⅲ-3(4) | BUP（バナー・アップ・プロジェクト） | 吹田の四季折々の魅力を感じられる4本のバナー（懸垂幕）を市庁舎に掲げること、来庁者に市の魅力を感じてもらう取組。 | I-2 | ・本取組を市のHPで紹介 ・春（3～5月）、夏（6～8月）、秋（9～11月）、冬（12月～2月）の周期で付け替えを実施。合わせて付け替え実施毎にすいたんSNSで周知。 | a | 令和4年度は、掲出を継続、令和5年度以降は庁舎改修の状況に合わせて、検討・対応していく。 |
| 65 | 公園みどり室 | Ⅲ-3(3)(4) | 樹木等保護 | 規則で定める基準に該当する樹木または樹林のうち、歴史や文化を感じさせるような古木等の、特に保護する必要があると認めるものを保護樹木または保護樹林として指定する。 | Ⅱ-3 | 令和3年度については、新規指定5本、枯死等により、指定解除4本。 吹田市樹木等保護制度の利用1件。 | c | 吹田市樹木等保護制度について、助成制度の見直しを検討し、利用祖促進を図っていく。 |
| 66 | 計画調整室 | Ⅲ-3(4) | 千里ニュータウンのまちづくり推進 | 千里ニュータウン情報館において、千里ニュータウンのまちづくりの歴史及び住民の生活文化を展示し、地域情報を発信することで、住民相互の連携によるまちづくりを推進する。 | Ⅱ-3 | 「自動改札機秘話」「万博輸送と北大阪急行」「大阪モノレールと31年」の3つをテーマに企画展示とオンラインセミナーを実施した。その結果、入場者数は10,468人と昨年の5,157人に比べ5,311人増加した。 | b | 新型コロナウイルス等の影響による入場者数の減少が課題であるが、まちびらき60周年を迎えて連携する市民団体等の活動は活性化している。計画調整室としても、ポータルサイトなどを活用した情報発信や、更に魅力的な企画や展示により、住民相互の連携によるまちづくりを推進する。 |
| 67 | 公園みどり室 | Ⅲ-3(4) | 緑あふれる未来サポーター | 市民と協働で公園及び緑地の除草・清掃、花壇管理・水やり、竹林管理などの環境保持、景観の維持を行い、にぎわいのある公園づくりを進める。 | － | 令和3年度については、新規指定9団体、指定解除4団体でトータル96団体が活動。 | c | 緑あふれる未来サポーターについても、助成制度の見直しを検討し、改善していく。 |

No

| 担当室課 | 大綱施策 | 事業名 | 取組内容 | その他関連 大綱施策 | 令和3年度実績 (取組内容の具体的な内容等) | ※ 判定 | 取組内容に関する今後の課題・検討内容 |
|------|------|-----|------|---------------|---------------------------|---------|--------------------|
|------|------|-----|------|---------------|---------------------------|---------|--------------------|

| 判 定 | 判定数 | 割 合 |
|-----|-----|-------|
| a | 11 | 16.9% |
| b | 40 | 61.6% |
| c | 14 | 21.5% |
| 合計 | 65 | 100% |

※判定数の合計については、No30,32の各事業担当課に跨るものを除く